



発行所
広島市東区二葉の里
2丁目6-25
明星院
TEL 082-261-0551
FAX 082-262-1827



昭和22年4月22日 米空軍写真班撮影

暑中お見舞い 申しあげます

令和七年 猛暑

被爆・終戦八十年を迎えて

原爆投下直後、爆心地から約二キロに位置する当山は、先ず爆風で全ての建造物が倒壊し、間もなく饒津神社に隣接している茶室から火の手が上がり、廊下づたいに燃え広がって三時間あまりでほぼ焼き尽くされました。僅かに離れた場所にあった仁王門と義士堂は、崩れ落ちたものの焼失を免れました。仁王像と赤穂義士木像はかなり傷みましたが、後に仮安置所へと運ばれました。

当時は住職が常駐しておらず、宮島大聖院座主吉田恵光が兼務していて、年に数回の行事のみに来寺して執行しておりました。内室晴子の養父母八木市蔵・つる夫妻が留守居として、寺男・女中・書生と共に暮らしておりましたが命からがら逃げ出したと伝わっております。その後を恵光の弟子堀岡智明が住職に就き幼稚園保育園の運営を復興の柱と考えましたが、計画通り進まず志半ばで多額の借金を残してアメリカへ出奔してしまいました。

そして、昭和三十四年より先代廣田龍生が後任となり艱難辛苦を乗り越え、少しづつですが確実に復興してまいりました。現住恵生は、昭和五十七年に高野山仁和寺での八年間の学業修行を終え帰山し、現在の檀信徒の参拝事情に即応できるよう模索し創意工夫しながら現在に至っております。

皆様のご理解ご協力に衷心より感謝申しあげます。

《只今募集中》

高野山参詣と金剛流御詠歌

公演鑑賞の旅

◇日程 十一月十八日、十一月二十日 二泊三日

◇定員 十五名

◇会費 十一〇,〇〇〇円

(鑑賞席S席代金を含む)

◇申込 九月三十日まで(当山へ)

(但し、定員になり次第締め切ります)

巡 拝 日 程 表	
11/18 (火)	広島駅新幹線口＝＝山陽道・中国道・阪和道 7:30 ＝＝高野山(奥の院・壇上伽藍)＝＝無量光院 14:15 17:00(泊)
11/19 (水)	宿坊＝＝＝近畿道・名神高速＝＝＝岡崎 8:40 12:00(昼食) ＝＝祇園甲部歌舞練場＝＝祇園＝＝＝聞法会館 13:30(公演鑑賞) 16:00 17:30(夕食) 20:00(泊)
11/20 (木)	宿坊＝＝＝仁和寺＝＝＝大覚寺＝＝＝ 8:10 9:00～10:00 10:30～12:00 嵐山＝＝中国道・山陽道＝＝＝広島駅新幹線口 12:30(昼食) 19:00

※巡拝の順序や旅程は、道路事情、天候等により多少変更されます。



童地藏尊開眼法要

御詠歌とは、仏の教えを和歌にして節をつけ、鈴や鉦といった仏具を鳴らし唱える讃仏歌です。この度仁和寺にある御詠歌講「御室金剛講」が創立十年を迎えて記念公演を実施することになりました。会場が京都祇園甲部歌舞練場という事で、御詠歌のみならず(人間国宝)井上八千代師の舞や京舞井上流・平安雅楽会・和太鼓との共演を見所とした演目を取り入れた唯一無二の内容となっています。

NHKフロンタランナー

『苦しむ人の心に寄添う』

大仏師松本明慶と宗観

――童地藏尊奉納を撮影――

さまざまな分野で活躍する日本人にスポットを当て、その人物の魅力に深く迫る本格派ヒューマンドキュメンタリー番組で松本明慶大仏師と宗観大仏師の姿を追いかける取り組みとなっています。

本年が被爆八十年に相当することや当山安置の全ての仏像造立や修復に携わっていただいた明慶師の御縁で白羽の矢が立ち、当山が取り上げられました。

製作はNHKワールドジャパンCTVで全世界へ向けて発信されます。従いまして日本で視聴する為には左の方法で行ってください。

こちらのURLをご入力いただくか、QRコード(二次元バーコード)を読みとると八月二十七日から一年間、ご視聴いただけます。

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/frontrunners/>



編集後記

☆今年は東照宮で十年に一度の広島神輿行列が十一月九日に時代絵巻さながらに催されます。山主は二葉山々麓七社寺会を代表して僧衣で参加することになりました。当日は交通規制が行われ一般車両は通行止めとなり東照宮と饒津神社を往復いたします。ご高覧ください。

☆昨年にも増して異常な暑さが続いております。くれぐれもご自愛ください。



二福神堂



多聞天・弁財天



鎮守社



稲荷大明神

鎮守社と二福神堂を移設
 本堂正面左側に当山鎮守の稲荷社と多聞天・弁財天の夫婦二福神を祀る小堂を移設安置し開眼供養を執行しました。



第60番 横峰寺



第65番 三角寺にて



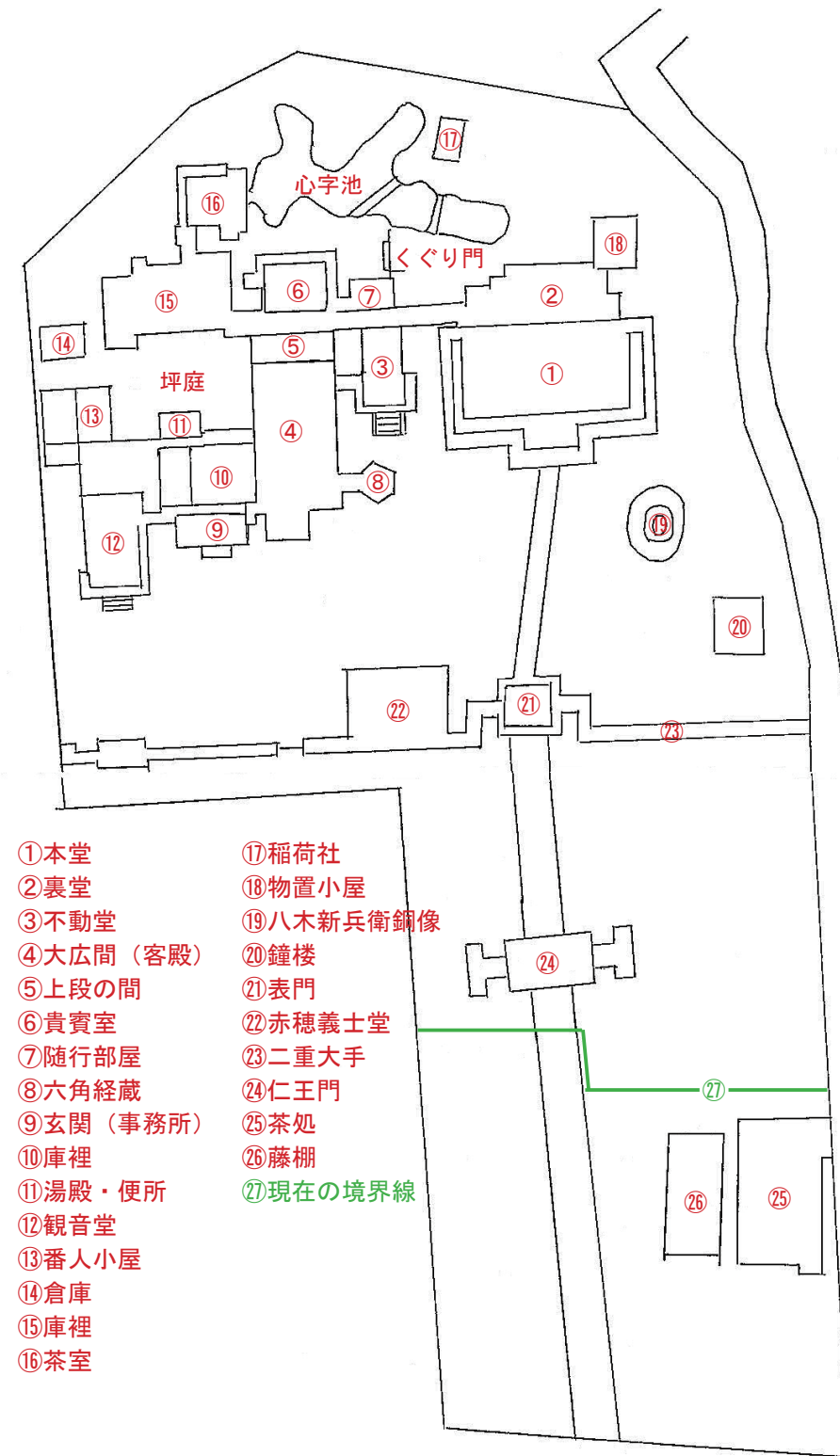
第88番 大窪寺

大師堂再建御礼参りの旅として発願した今回の巡拝は、四月十日から十八日までの四泊五日で遍路を行いました。五十八番仙遊寺は全山一面に自生している三葉躑躅が咲き誇り我々を出迎えてくれ、六十五番三角寺では珍しい遅咲きの緑の桜で知られる御衣黄が見事に満開でした。八十七番では歩き遍路のフランス人夫婦が足が限界でバス乗車を懇願され和やかなうちに結願へ全貴元気に帰りました。

お四国詣りご報告
 第十期第三回巡拝
 伊予・讃岐之国

被爆前の当山平面図

昭和十年実測





仁王門裏面



仁王門正面



桜が満開の境内



仁王門側面



赤穂義士木像



本 堂



本堂落成頃
昭和49年11月末日



二葉幼稚園・保育園園舎落成頃
昭和39年11月末日



二葉幼稚園創立50周年記念
平成10年11月頃



開山四百五十年記念護摩堂落成頃
平成6年11月末日



平成27年仁王門落成・令和5年大師堂落成を終えて

復興の歩み